

(18) 藻類養殖指導

予算

運営費交付金

概要

1. 藻類養殖漁場の塩分、リン (DIP)、窒素 (DIN) : 表 1~3 のとおり。
2. ノリ養殖 (尾崎・西鳥取) : 10 月下旬から育苗が開始され、育苗中のノリ芽の状態はおおよそ問題は無かった。冷凍入庫は 11 月下旬までには完了し、11 月の終わりから順次ノリ網の張り込みが開始された。12 月から 1 月中旬までは生長が芳しくなく、1 月下旬になってようやく摘採作業が開始されて板海苔の生産が行われた。2 月上旬にかけては生産が行われたが、2 月中旬には著しい色落ちが生じ板海苔の生産が中断された。2 月下旬に降雨があったことから栄養塩もが回復し 3 月の中旬にかけて生産が継続した。生産枚数は 132 万枚と昨年を下回った (表 4)。
3. ワカメ養殖 : 田尻から下荘の各地区では、11 月中旬から 12 月上旬にかけてワカメ種糸の挟み込み作業が行われ、順次養殖が開始された。順調に生育し、一部地区では 1 月上旬に生ワカメの出荷が開始された。2 月中旬には著しい色落ちが生じ出荷を中断していた地域もあったが、2 月下旬には徐々に回復し、湯通し塩蔵わかめや素干しわかめの生産も行われた。3 月を通じてワカメの収穫が継続された。谷川では 1 月中旬に本養殖が開始され、4 月に収穫が行われた。
4. 藻類養殖情報 : 気温・水温、降雨量、栄養塩測定結果、赤潮発生状況及び養殖概況をとりまとめ藻類養殖情報として 11 月~3 月に 5 回発表した。

調査方法

1. 調査定点
田尻町田尻、泉南市岡田浦、阪南市尾崎、西鳥取、下荘、岬町谷川の 6 点
2. 調査期間と実施日
2023 年 11 月から 2024 年 3 月 (各月の第 1 週を目安に実施)
巡回指導実施日 : 11 月 6 日、12 月 4 日、1 月 9 日、1 月 31 日 (2 月分として)、3 月 4 日
3. 調査項目
1) 巡回指導
各養殖漁場で採取した表層海水の塩分、溶存態無機リン (DIP)、溶存態無機窒素 (DIN) の測定、ノリ・ワカメの養殖概況の把握

調査結果

表 1~4 のとおり。

担当者

山中智之、近藤 健、久保文雄

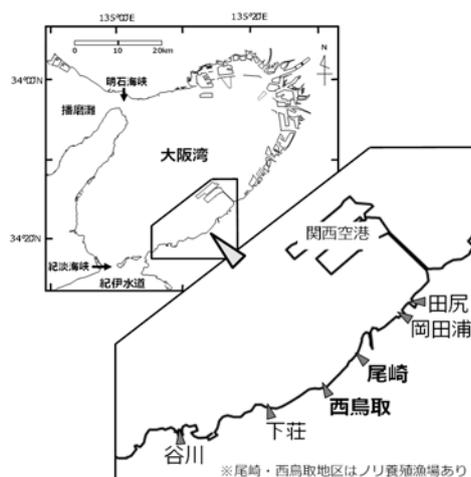


図1 調査場所

表1 漁場の表層塩分

月	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	32.58	32.57	32.17	32.49	32.64	32.77
12	31.84	31.85	30.98	31.57	32.09	32.83
1	31.29	31.90	31.45	31.78	32.02	32.80
2	32.03	32.00	31.17	32.08	32.16	32.75
3	31.11	31.86	30.83	31.83	31.77	32.59

表2 漁場の DIP

月	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	0.57	0.83	1.19	0.76	0.60	0.37
12	0.48	0.39	1.53	1.00	0.39	0.45
1	0.72	0.37	0.94	1.58	0.48	0.50
2	0.59	0.64	1.20	0.54	0.47	0.53
3	0.65	0.42	2.13	0.36	0.39	0.39

※ノリ色落ち警戒濃度：0.5 μmol/l、ワカメ色落ち警戒濃度：0.1 μmol/l

表3 漁場の DIN

月	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	6.24	9.75	10.16	8.41	5.18	2.31
12	7.08	6.14	19.54	11.95	3.65	3.51
1	11.35	4.15	11.80	21.09	4.85	4.15
2	8.39	10.30	18.46	7.98	6.90	5.10
3	9.64	4.58	14.63	3.18	2.90	3.99

※ノリ色落ち警戒濃度：10 μmol/l、ワカメ色落ち警戒濃度：2 μmol/l

表4 ノリ生産概況の経年変化

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	前年比(R5/R4)
経営体数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1.00
持網数(千枚)	0.86	0.67	0.76	0.79	0.79	0.78	0.72	0.72	0.74	0.71	0.74	0.96
生産枚数(万枚)	343	258	154	159	322	148	216	190	146	155	132	0.85
共販枚数(万枚)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均単価(円/枚)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—